

令和 6 年 6 月 14 日現在

機関番号：32606

研究種目：基盤研究(C)（一般）

研究期間：2019～2023

課題番号：19K00685

研究課題名（和文）日英語における有標構文と文法体系の相関

研究課題名（英文）On the relation between marked constructions and grammatical systems in English and Japanese

研究代表者

今野 弘章（Konno, Hiroaki）

学習院大学・文学部・教授

研究者番号：80433639

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 1,900,000 円

研究成果の概要（和文）：日英語の有標現象を意味・語用論的に記述し、それらが示す特殊性に関して、両言語の文法体系を考慮に入れた原理的説明の可能性を探った。扱った現象は次の4つである。非伝達的機能に特化した有標現象、時制辞を欠く有標現象、疑似目的語を含む有標現象、格助詞「の」の語中挿入を含む有標現象。そして、これらの現象が示す意味・語用論的特殊性が、両言語の一般的文法特性によって動機付けられていることを明らかにした。

研究成果の学術的意義や社会的意義

本研究には次の2点の学術的意義がある。本研究では、これまで比較対象とされてきていない有標現象を比較・対照する、あるいはこれまで記述されてきていない有標現象を記述する。この点で本研究は記述的意義を持つ。本研究は、単に有標現象の独自性を示すものと見なされがちな特殊性が、孤立したものではなく、所属言語の文法体系に動機付けられている（場合がある）という、有標現象の研究に関する新たな視座を提供する。この点で本研究は方法論的意義を持つ。

研究成果の概要（英文）：This study examined the following four bizarre constructions in English and Japanese from a semantic-pragmatic perspective, and considered whether their idiosyncrasies can be motivated in a principled way: (i) constructions functionally specialized as non-communicative expressions; (ii) main clause phenomena without morphological tense; (iii) constructions with fake objects; and (iv) "discontinuous" lexical expressions in which the case particle NO occurs word-medially. It showed that the semantic-pragmatic peculiarities of these phenomena are motivated in light of the general grammatical properties of the two languages.

研究分野：英語学

キーワード：有標性 日英語対照 類型論 伝達性 時制 疑似目的語 類似性





5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計1件（うち査読付論文 0件 / うち国際共著 0件 / うちオープンアクセス 0件）

1. 著者名 今野弘章	4. 巻 19
2. 論文標題 「注意と視覚と二ノヲ交替」	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 『日本認知言語学会論文集』	6. 最初と最後の頁 262-272
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計11件（うち招待講演 2件 / うち国際学会 0件）

1. 発表者名 今野弘章
2. 発表標題 「無形の意味について - イ落ち構文の時制解釈再訪」
3. 学会等名 洛中ことば倶楽部第35回例会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 今野弘章
2. 発表標題 「イ落ち構文の時制解釈の動機付け再考」
3. 学会等名 第11回筑波英語学若手研究会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 今野弘章
2. 発表標題 「最高の」考
3. 学会等名 第10回筑波英語学若手研究会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 今野弘章
2. 発表標題 「余分な」機能語の存在と類像性
3. 学会等名 洛中ことば倶楽部第30回例会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 今野弘章
2. 発表標題 構文の語用論的機能による目的語の認可
3. 学会等名 大東文化大学語学教育研究所講演会（招待講演）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 今野弘章
2. 発表標題 貴重な時間を何してんだ！ 構文の語用論的機能によるヲ格名詞句の認可
3. 学会等名 筑波大学英語学研究室言語学講演会（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 今野弘章
2. 発表標題 構文の項としての懸垂ヲ格
3. 学会等名 日本語文法学会第21回大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 今野弘章
2. 発表標題 Xヲナニスル構文と構文の項
3. 学会等名 洛中ことば倶楽部第23回例会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 今野弘章
2. 発表標題 Xヲナニスル構文における懸垂ヲ格の認可について
3. 学会等名 第8回筑波英語学若手研究会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 今野弘章
2. 発表標題 「懸垂ヲ格について」
3. 学会等名 洛中ことば倶楽部第21回例会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 今野弘章
2. 発表標題 「『余分』なヲ格項と構文の談話機能」
3. 学会等名 第7回筑波英語学若手研究会
4. 発表年 2019年

〔図書〕 計0件

〔産業財産権〕

〔その他〕

ホームページ

<https://sites.google.com/site/onnokikaorih/>

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
--	---------------------------	-----------------------	----

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------